



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 丸山製作所

コード番号 6316 URL <http://www.maruyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 尾頭 正伸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 佐藤 達也

TEL 03-3252-2271

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	25,955	14.2	1,782	63.6	1,524	50.1	861	41.7
25年9月期第3四半期	22,731	3.3	1,089	△19.6	1,015	△11.8	608	11.5

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 972百万円 (△26.1%) 25年9月期第3四半期 1,316百万円 (133.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	17.50	—
25年9月期第3四半期	12.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	35,833	14,389	40.2
25年9月期	33,948	13,726	40.4

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 14,389百万円 25年9月期 13,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	—	—	4.00	4.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	9.5	2,000	16.4	1,700	13.7	950	13.6	19.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	50,293,328 株	25年9月期	50,293,328 株
26年9月期3Q	1,207,359 株	25年9月期	895,962 株
26年9月期3Q	49,242,904 株	25年9月期3Q	49,398,629 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融承認取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 法人税率の変更等による影響	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策の効果が下支えとなる中、設備投資は増加しており、企業収益、雇用情勢にも明るさがみえてきました。一方、海外経済も、アジアでは中国の景気が緩やかに拡大しており、安定した成長を続けております。また、米国経済も回復しており、欧州におきましても持ち直しの兆しがみられました。しかしながら、国内では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、生産、個人消費は弱含んでおり、海外でも、米国の金融緩和の縮小、中国の金融市場の動向など、景気の下振れリスクが残っております。

このような状況のもと、当社グループは、前期に発売を開始したキャビン付ハイクリブームなどを中心に積極的な営業活動を展開するとともに、新たな海外販路の拡大を進めてまいりました。

これらの結果、国内では、好評を頂いておりますハイクリブームを中心に大型製品が増加したことなどにより、国内売上高は20,448百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。一方、海外では、海外経済の回復や円安効果もあり、北米、欧州、アジア向けが増加したことなどにより海外売上高は5,507百万円（前年同四半期比26.0%増）となり、当第3四半期連結累計期間の売上高合計は25,955百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。

利益面では、売上高の増加に伴う物流費や販売費の増加はありましたが、生産性の向上により売上総利益率が改善したことなどにより、営業利益は1,782百万円（前年同四半期比63.6%増）、経常利益は1,524百万円（前年同四半期比50.1%増）、四半期純利益は861百万円（前年同四半期比41.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

農林業用機械は、国内では、大型製品を中心に積極的な営業活動を展開したことなどにより、高性能防除機が増加いたしました。一方、海外では、刈払機などの林業機械が増加した結果、国内外の農林業用機械の売上高合計は19,243百万円（前年同四半期比13.0%増）、営業利益は1,771百万円（前年同四半期比41.4%増）となりました。

工業用機械は、国内では、前年同四半期並みとなりました。一方、海外では、海外経済の回復や円安効果もあり、北米、欧州向けの工業用ポンプが増加した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は4,018百万円（前年同四半期比16.8%増）、営業利益は983百万円（前年同四半期比45.8%増）となりました。

その他の機械は、消防機械を主なものとしており、その他の機械の売上高は2,538百万円（前年同四半期比20.4%増）、営業損失は81百万円（前年同四半期は3百万円の利益）となりました。

不動産賃貸他の売上高は392百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益は201百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

なお、不動産賃貸他では、当社で千葉工場の敷地内に「太陽光発電設備」を設置し、1月より「売電事業」を開始いたしました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は35,833百万円となり、前連結会計年度末より1,885百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少（950百万円）はありましたが、受取手形及び売掛金の増加（283百万円）、たな卸資産の増加（2,306百万円）などによるものであります。

負債総額は21,443百万円となり、前連結会計年度末より1,222百万円増加いたしました。これは、未払法人税等の減少（310百万円）、賞与引当金の減少（267百万円）はありましたが、短期借入金の増加（685百万円）、長期借入金の増加（1,073百万円）などによるものであります。

純資産の合計は14,389百万円となり、前連結会計年度末より663百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加（594百万円）及びその他有価証券評価差額金の増加（103百万円）などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、今後の事業環境などを見極める必要があるため、前回予想（平成26年5月14日）を修正いたしません。見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、山東秋田丸山機械股分有限公司は重要性が増加したため、持分法適用の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（3）法人税率の変更等による影響

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課せられないことになりました。これに伴い、平成26年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率が38.01%から35.64%に変更となります。

なお、当該変更が繰延税金資産及び法人税等に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,562	2,611
受取手形及び売掛金	10,926	11,243
商品及び製品	5,686	7,522
仕掛品	336	416
原材料及び貯蔵品	1,406	1,796
その他	661	810
貸倒引当金	△11	△14
流動資産合計	22,568	24,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,614	3,597
土地	2,597	2,593
その他（純額）	1,644	1,683
有形固定資産合計	7,855	7,874
無形固定資産		
	48	114
投資その他の資産		
投資有価証券	2,809	2,888
その他	678	584
貸倒引当金	△12	△14
投資その他の資産合計	3,476	3,458
固定資産合計	11,380	11,446
資産合計	33,948	35,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,795	3,121
電子記録債務	5,818	5,955
短期借入金	2,142	2,827
1年内償還予定の社債	132	102
未払法人税等	609	298
賞与引当金	574	306
リコール損失引当金	37	9
その他	1,317	1,032
流動負債合計	13,426	13,653
固定負債		
社債	608	557
長期借入金	4,080	5,154
退職給付引当金	1,734	1,687
その他	372	391
固定負債合計	6,795	7,790
負債合計	20,221	21,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,525	4,525
利益剰余金	4,105	4,700
自己株式	△152	△228
株主資本合計	13,129	13,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	745
為替換算調整勘定	△45	△3
その他の包括利益累計額合計	597	741
純資産合計	13,726	14,389
負債純資産合計	33,948	35,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	22,731	25,955
売上原価	16,402	18,550
売上総利益	6,329	7,404
販売費及び一般管理費	5,239	5,621
営業利益	1,089	1,782
営業外収益		
受取利息	8	12
受取配当金	43	60
為替差益	102	—
その他	57	27
営業外収益合計	212	99
営業外費用		
支払利息	86	87
持分法による投資損失	—	48
退職給付費用	120	120
その他	79	101
営業外費用合計	286	358
経常利益	1,015	1,524
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産処分損	2	11
特別損失合計	2	11
税金等調整前四半期純利益	1,015	1,513
法人税等	406	651
少数株主損益調整前四半期純利益	608	861
四半期純利益	608	861

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	608	861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	587	103
為替換算調整勘定	120	5
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	707	110
四半期包括利益	1,316	972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,316	972

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,036	3,440	2,108	145	22,731	—	22,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	232	232	△232	—
計	17,036	3,440	2,108	378	22,963	△232	22,731
セグメント利益	1,252	674	3	194	2,124	△1,035	1,089

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,243	4,018	2,538	155	25,955	—	25,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	236	236	△236	—
計	19,243	4,018	2,538	392	26,192	△236	25,955
セグメント利益又は損失(△)	1,771	983	△81	201	2,875	△1,092	1,782

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。